28 年度事務事業評価表(一般用) 060400 2998-9120 事業コード 高齢者支援課 060418 部 課 開始年度 昭和38 終了年度 年度 <mark>クルーフ</mark> 庶務生きがいグループ 年度 事業の種別 白治事務 法定受託事務 法定受託+附加 根拠法令 所沢市高齢者福祉計画·介護保険事業計画 分野別計画·指針 車 老人福祉法 関連·類似事業 コミュニティ施設(指定管理)管理事業(地域づくり推進課) 丵 基本 <mark>総合計画の体系</mark> 健康·福祉 高齢者福祉 介護予防体制の充実 方針  $\sigma$ 概 昭和38年、老人福祉法が制定され、「老人がいきがいを持てる健全で安らかな生活を保障する」という同法第2条の基本理念の具体化のため、居 事業開始の背景 宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホーム等に入所させる必要が生じたもの。平成23年度からは指定管理者制度に移行した。 要 目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 亀鶴園の管理を指定管理者に行わせることにより、入所者への適正な処遇の確保及び福祉サービスの充実・向上を図る。 対象(誰を、何を対象としているのか) 平成 26 年度 31 人 事 対象数 単位 亀鶴園に入所している者。 平成 27 年度 31 人 業 事業の具体的な内容及び実施方法 O, 内 施設の管理については、指定管理者と指定管理協定を結ぶ 指定管理者は業務仕様書に基づき施設運営管理業務を遂行する 容 市はモニタリングに基づき指定管理者に対して継続監視を実施する。 指定管理者は、毎月、四半期、年度末に報告書を提出する。 会計種別 平成 年度 平成 年度 平成 -般会計 26 (千円) (千円) 年度 27 28 (千円) 予算現額 140.795 140.795 140.795 122,697 120.803 算 (見込み含む) (非常勤特別職員) (臨時的任用職員 0.00 人 0.00 人) 人) 人) 「財源内訳」について 綒 平成28年度のみ、当初予算 正規職員人件費 0.35 人 3,052 0.36 人 3,118 の内訳となっています 事業費合計 123,921 禮 125.749 一般財源 125,749 123,921 140,795 国·県支出金 0 0 内 訳 その他( 0 0 単位 H 26 H 27 H28見込み 将来目標 項目名 項目説明 入所者数 年度末の老人ホーム入所者数 人 31 31 活動実績 结 単位 H 26 H 27 H28目標値 項目名 項目説明 将来目標 目標値 90 90 90 稼働率 成果指標 年度末入所者数/亀鶴園定員(50人) % 成 実績 □ <u>縮小図る</u> 62 62 🗸 里 拡大図る 目標達成状況 どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています 0/6 達成率 60 69 チェックしてください (1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください (2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析 27年度は2カ年の空調設備他改修工事が開始されたため、入所者などに説明会を行い 介護保険の利用や生活保護などにより、在宅での生活が続けやすいことが 菙 不安を取り除くよう配慮した。また障害者の方と入所者の方の交流事業として、敬老会 つの要因と考える。 点 を行った。 ☑ 拡大 🗌 縮小 **✓** 継続 事業実施方法 高齢化に伴い、保護が必要な高齢者や高齢者の世話が困難な世帯が増加す 理由 改善· 現状 ることが予測されるため (複数選択可) その □他 方今 □効率化□ 終了 維持 向後 価 性の 高齢化に伴い、保護が必要な高齢者や高齢者の世話が困難な世帯が増加す 現状 評 □ 拡大 □ 縮小 ☑ 次年度予算 理由 ることが予測されるため (1)平成28年度に取り組んでいる状況 (2)今後の方向性 急速な高齢化に伴い、当該事業の必要性は今後も高いものと思われるため、 佣 指定管理者の事業報告書の様式を一部わかりやすいように変更した。 入所者の生きがいある生活につながるように、生活リズムを調整するなど、 今後もより良い生活ができるよう指定管理者の指導を行う。 H28.8.19 評価日 評価者職氏名 高齢者支援課長 池田 隆人 規制を受ける環境法令等 無 有益な 有害な環境影響 廃棄物の排出 環境影響 を及ぼす原因活動 緊急事態 無